

将棋教室

第18回趣味のサークル

囲碁教室



「第18回趣味のサークル」として将棋教室・囲碁教室を2016年6月18日(土)・19日(日)に7支部30名の参加で本部会議室において開催しました。昨年まで文体行事として大会形式で開催していた「囲碁・将棋大会」はここ数年間の参加者減少に伴い本年度は中止することとなりましたが、組合員皆さんからの囲碁・将棋大会開催要望が多数寄せられ、本年度は『趣味のサークル』として囲碁・将棋ともにプロ棋士を招いた「指導対局」という今までにない形式での開催となりました。

18日の将棋教室では安食(あじき)総子初段・伊藤明日香初段のお二人の女流棋士をお招きし、同時に三人と対局する3面指しをしながら、参加者に対し細かなアドバイスと、時には数手前までさかのぼりポイントとなった手の解説をしていただくなど、大変わかりやすくご指導いただきました。対局を重ねるうちに4手落ち・飛車角落ちなどのハンデをもらいながらも、プロ棋士に勝つ参加者が現れ、ついにはハンデなしの平手戦で吉祥寺支部の神埼義治さんが勝利し、参加者のレベルの高さにプロ棋士も驚いていました。参加者の皆さんも大いに盛り上がり、有意義で楽しい将棋教室となりました。

翌19日にはプロ生活37年、現役バリバリの九段・大矢浩一棋士をお招きして囲碁教室を開催しました。午前中は先生に講義をしていただき、そして4面打ちでの指導対局となりました。将棋教室同様とても分かりやすく丁寧な指導の中、和気藹々と対局が進められました。

昼休憩時には大矢九段から参加者の皆さんとのお話がしたいとの申し出があり、昼食を取りながら囲碁談義に花を咲かせていました。午後にも再度講義を受けてから、指導対局を皆さん楽しんでいました。また、将棋教室に続き神埼義治さんが9子局のハンデ戦ながらも勝利し、大矢九段を驚かせる一面もありました。

両日ともにご指導いただいたプロ棋士のご好意で色紙にサインをいただき、参加者全員にプレゼントされました。

趣味のサークルはアクションプランに掲げた「趣味を活かした少人数の行事」として行っています。今後も囲碁・将棋だけでなく企画内容・開催時期・募集方法等更に検討を重ね、多くの皆さんが参加しやすい企画にするとともに、今回参加の皆さんや各支部囲碁・将棋ファンの皆さんの意見を参考に、再び文体行事の「囲碁・将棋大会」として開催出来るように文体部として取り組んで参りますので皆さんのご協力をお願いいたします。



プロ棋士の指し手を一手も見逃すまいと熱心に対局を見学する参加者の皆さん



昼食時も囲碁談義に花が咲きました。



指導対局していただいたプロ棋士の先生